

愛知医科大学病院を受診している患者さんへ

当院では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	テジゾリドとリネゾリドの有効性および安全性の比較検討に関する後方視的研究
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 藤原祥裕
担当科等	感染症科
研究責任者	教授 三嶋廣繁
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	非該当
研究の意義・目的	本邦において新たに上市されたテジゾリドは、既存の同系統の抗菌薬であるリネゾリドにおいて頻度の高い有害事象である血液毒性が発生する頻度が低いとされています。一方、タンパク結合率が高く、組織移行性に劣る可能性も報告されています。現在、これらの違いは、臨床試験や海外での使用経験のみであり臨床データは限られています。日本人の臨床データの検討として、当院におけるテジゾリドとリネゾリド使用における有効性および安全性を比較検討することを目的としています。
対象となる患者さん	2014年4月から2023年3月までにテジゾリド（シベクトロ <sup>®</sup> ）もしくはリネゾリド（ザイボックス <sup>®</sup> ）を投与された患者さん
研究の方法	対象となった患者さんの電子カルテ情報より必要な情報を抽出し、テジゾリド（シベクトロ <sup>®</sup> ）およびリネゾリド（ザイボックス <sup>®</sup> ）の有効性および安全性を比較検討します。
研究期間	倫理審査承認日 ～ 2023年3月31日
外部への試料・情報の提供	なし
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	利用する情報から、お名前、住所などの個人を特定できる情報は削除して利用します。また、研究結果は学会や学術誌などで発表しますが、その際も患者さんを特定できる個人情報を使用しません。本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。
問い合わせ先	愛知医科大学病院 感染制御部 担当者：薬剤師 塩田 有史 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311（内線 39741）